

# 「地域再生基盤強化交付金」を活用した地域再生計画（愛知県岡崎市）

人にやさしく、安全で元気に暮らせる  
まちづくり計画

作成主体	愛知県、岡崎市
区域	岡崎市の全域
計画期間	H27～31年度



歩道のバリアフリー化(例)



林道整備(例)

## ◆背景

- ・将来確実に進展する人口の減少、高齢化社会を迎えるにあたり、高齢者や子育て世代など、幅広い市民が安全に街歩きをすることができ、安心して暮らせる環境の確保が必要
- ・局地的な集中豪雨、大型台風、南海トラフ巨大地震等による大規模自然災害等の対し、補完的に広域道路網の一環を形成している市道の整備、安全性・代替性・防災性に優れた道路の整備等の災害対策が必要
- ・森林の持つ、土砂災害の防止や土壌保全など多様な機能を活かすため、良好な森林の維持が必要

## ◆目標

防災性を配慮し、市民が安全に暮らせることを目的とした道路整備を行い、移動時間を短縮させ満足度の向上を図る。また林道と一体的に整備することで、多機能で良好な環境を創出し、災害に強く、元気に暮らせるまちづくりを目指す。

【数値目標】

歩行者の満足度 52% (H25) → 56% (H32)

災害拠点病院への移動時間の短縮

平均37分 (H26) → 平均34分 (H32)

耐震補強が必要な橋りょう数 9橋 (H26) → 0橋 (H31)

間伐等森林施業面積の促進 395ha/年 (H25) → 450ha/年 (H31)

防災意識の向上 23,203人 (H25) → 38,900人 (H31)

## ◆取組

○市道及び林道の整備

市道 道路延長 13.1m

林道 道路延長 2.5km

【道整備交付金（内閣府）】

総事業費 3,865.7百万円（うち国費 1,927.5百万円）